



ダッシュ

NPO法人目黒体育協会会報

編集発行／NPO法人目黒体育協会
発行日／令和4年1月31日

『みんなでつくろう体育協会 生きがいと健康の輪』

NPO 法人目黒体育協会 スローガン



『新年の「あこがれ」』

NPO 法人目黒体育協会
会長 會田 陽久



新年を迎え、謹んで初春のお慶びを申し上げます。昨年一昨年に続きコロナ感染の波が押し寄せ、東京2020オリンピック・パラリンピック大会を開催することができました。目黒区としては、リニューアルした中央体育館がテコンドーの練習会場として使用され、職員の皆さんの尽力の下、無事に責務を果たすことができました。

今年もコロナウイルスの状況に対応しながら、スポーツイベントを中心に慎重に活動を続けて行くことになると思います。体育施設の一部は引き続き、コロナワクチン接種の会場として利用される予定です。利用者の方にはご不便をおかけしますが、ご寛恕のほど宜しくお願い申し上げます。一日でも早く体協及び参加団体の活動が元に戻ることを期待しつつ、平素の活動を着実に進めていく所存です。

また、懸案事項として、組織名称の変更があります。体育協会からスポーツ協会への変更は既定の方針ですので、いずれ対応しなければなりません。様々な作業を含めコストのかかる事柄ですので、極力無理が生じないように進めて参りたいと思います。

今後とも皆様のご理解、ご協力を宜しくお願い致します。



『年頭の「あこがれ」』

目黒区長 青木 英二



新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素より、目黒体育協会の皆様には、目黒区体育祭の運営をはじめとしたスポーツ事業を通じて、区のスポーツ振興の中心的役割を担っていただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染拡大により1年延期されていた、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されました。コロナ禍での開催となりましたが、選手たちのひたむきな姿に、多くの人がスポーツの素晴らしさを改めて感じる機会となったのではないのでしょうか。

区としましても、東京2020大会を契機としたスポーツに対する機運を維持・向上させるため、区民の誰もが、気軽にスポーツを楽しむことができる環境の整備に、より一層取り組んでまいります。協会の皆様には、引き続き、お力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに本年が皆様にとりまして、希望に満ちた輝かしい年となりますことをご祈念申し上げます。



年頭にあたり、NPO法人目黒体育協会
43 加盟団体から皆様にご挨拶申し上げます。

◆全員一丸野球に勝つ
コロナに克つ

軟式野球連盟 会長 田村 嘉健

◆青空の下で、少年から壮年まで共に走跳投の記録に挑戦し、皆で楽しく汗を流そう。

陸上競技協会 会長 高祖 勝市

◆オリンピックで感動と勇気をもらいました。
柔道の普及と選手強化を目指します。

柔道連盟 会長 市島 大二郎

◆自然の中で、たまには息を抜くのも大切、糸を垂らして、楽しんでみては、どうですか。

釣魚連合会 会長 大塚 雅信

◆小学生の体力低下対策には、普段からの相撲が一番です。

相撲連盟 理事長 石塚 友宏

◆ソフトテニスを通して区民の健康増進、青少年の健康育成に努めます。

ソフトテニス連盟 会長 石原 実

◆「壬寅」は、陽気を孕み、春の胎動を助ける年。こども剣道の普及に向けて邁進します。

剣道連盟 会長 塚越 美智子

◆生涯スポーツである卓球の普及振興を図りながら、有望な選手育成に取り組んでまいります。

卓球連盟 会長 中野 恵司

◆瑞祥新春 疫病退散 転禍為福
健康増進 不老長寿 聖寿万歳

弓道連盟 会長 塩川 和典

◆自然の息吹を感じてもらえるよう、安全で楽しいスキー技術の取得に向け尽力します。

スキー連盟 会長 大信田 雅伸

◆オリ・パラを観てバドミントンが面白い、やってみたいという人をサポートしたいと思えます。

バドミントン協会 会長 児嶋 昇

◆今年の目標は、都民大会の上位入賞、二年間のブランクをこの一撃に込めます。

クレール射撃連盟 会長 谷川 宏治

◆東京オリンピックでの選手の活躍で、空手道を学びたいという子どもが増えています。

空手道連盟 会長 近藤 彰郎

◆アーチェリーの普及と発展を通じて目黒区民の生涯スポーツ活動を支援します。

アーチェリー協会 会長 小野田 寛

◆ウイズコロナ 感染対策しつかりと、明るく！楽しく！元気よく！！

サッカー協会 会長 平岡 正太郎

◆昨年、コロナで大会が正規に行えなかった分、今年の各部大会が盛大に行えるよう願います。

バレーボール連盟 会長 松岡 一二三

◆都民体育大会団体戦は、優勝旗奪還。
ジュニア育成に全力投球。

ライフル射撃協会 会長 平澤 和實

◆水泳の「奥」を極めつつ、区民皆泳を目指し、楽しい人生を送りましょう。

水泳連盟 会長 杉浦 重子

◆コロナ感染予防対策に努め、楽しくバスケットができるよう日進月歩で成長していきます。

バスケットボール連盟 会長 森田 良治

◆「自己確立」を目指し「自他共楽」を目標にし、地域社会への普及と貢献に努めます。

少林寺拳法協会 会長 宮坂 講治

◆合気道は老若男女どなたでもできる武道です。楽しみながら合気道を始めてみませんか？

合気道連盟 会長 阿部 修

新年

くす
しま
し
宜



謹 賀

本 年 も
お 願 い

◆なぎなたは生涯スポーツとして、得意技を磨き、心身ともに永く楽しめる武道です。

なぎなた連盟 会長 加藤 れい子

◆目黒区でのテニスの一層の普及、強化及び協会の親睦に貢献したいと考えています。

テニス協会 会長 岸 光洋

◆東京オリンピックでの優勝に、元氣と希望をもらいました。我が連盟も頑張ります。

ソフトボール連盟 会長 白子 君代

◆長い歴史のある音楽体操で、楽しくからだを動かし、さらに発展をめざします。

音楽体操協会 会長 湯澤 きよみ

◆勝利の女神はどこに。三位、四位はもう要らない。今年は強引に女神を引き寄せます。

ゲートボール協会 会長 小川 安弘

◆人生一〇〇年時代、トリム体操で体幹を鍛え、健康な身体を作りましょう。

トリム体操連盟 会長 高橋 輝男

◆スポーツを通じ青少年の心と体の健全育成とともに指導者の育成を目的に活動します。

スポーツ少年団 本部長 深井 利彦

◆コロナ禍でも今年は、会員が安心して集えるように工夫しながら、練習会等の活動をします。

トライアスロン連合 会長 石田 尚志

◆今年も皆さんと共に、手軽に楽しめる生涯スポーツのミニバレーを推進いたします。

ミニバレー協会 会長 杉本 幸二

◆健康長寿体操、百歳時代を楽しく、ラジオ体操の普及と発展に尽力します。

ラジオ体操連盟 会長 有野 滋

◆当連盟は、今年で設立二〇周年になりました。新たに会員を募集しています。

グラウンド・ゴルフ連盟 会長 岸 信

◆皆さんと一緒にスポーツする、その気持ちが健康促進です。ティーボール始めましょう。

ティーボール連盟 会長 丸山 恭市

◆東京五輪で日本初の金メダル獲得を鏡に、初心者の方の拡大・育成と選手の更なる強化を図る。

フエッティング協会 会長 横山 勲

◆健康は、丈夫な足腰と姿勢から！ワルツ・タンゴ・ルンバ、楽しく踊ってきたえます。

ダンス連盟 会長 永田 純

◆松山選手のマスターズ制覇、稲見選手の銀メダルと活躍。ゴルフ連盟も入会者募集中です。

ゴルフ連盟 理事長 栗山 よしじ

◆優雅に美しく添う動との調和。バトンの普及発展、オリンピック種目入を目指し進みます。

バトン協会 会長 木村 洋子

◆グランパス目黒アカデミーのスクールが開校し、躍進の第一歩として大きく前進します。

ラグビーフットボール協会 会長 岡部 定征

◆今年こそ、皆が集まり笑顔で楽しく、エアロビが出来ますように!! と願います。

エアロビク連盟 会長 浅山 美樹

◆今年も幼児からシニアまで、元気で「楽しい健康体操」の輪を、広げていきます。

健康体操連盟 会長 横田 由紀子

◆「引く綱に体重のせて夢のせて 握る力を大会に注ぐ」大会に向け手綱を引き締めます。

綱引連盟 会長 坂元 達也

◆今年こそは子どもも大人もたくさん運動をすることができ、それを目指していきます。

小学校体育連盟 会長 若林 研司

◆知徳体のバランスと、生涯にわたってスポーツに親しむことができる生徒を育成します。

中学校体育連盟 会長 小沢 進

Congratulations!

東京都スポーツ功労賞受賞

加藤 知子 (トライアスロン選手)

区政功労表彰受賞

酒井 喜久子(目黒区バドミントン協会)

西大條 雅史(目黒区剣道連盟)

横溝 忠幸 (目黒区バレーボール連盟)

令和3年度 砧グラウンド事業

(1)親子でソフトボール大会」に参加して

目黒ピーターズ 保護者 石原 由樹子
小学4年生の息子と初めて参加させていただきました。息子は、くじ引きでチームメイトとバラバラになり残念そうでしたが、初めて会う他チームの皆さん達と顔を合わせると、ワクワクした表情になったのが印象的でした。

私たちのチームは小さい子から打順を回して、勝ち負けよりも楽しもう!という試みでした。1試合目、相手チームの守備も固く、3回の表には0-10と大差。息子を含め年上の選手達は芝生に腰を下ろし、少し遠い目で試合を見守りながら諦めた様子。

ところが、年下の選手が見事なヒットを打ったことを皮切りに、一気に流れが変わり始めました。そのあとの選手もヒットが続き、親子の大きな声援と

ともに元気を取り戻し、最終回には7点を返し、見事逆転勝利をしました。小さな子が打った、たった1本のヒットで大人も子どもも全員がポジティブになり、笑顔になれた、そんな展開にとっても感動したのを覚えています。

決勝戦では、キヤッチボールもろくに出来ない私が大事な場面でマウンドに立つことになりました。ホームベースに届かせ



『お母さん、頼むよ〜!』

ることもろくにできず、もちろんストライクは、ほぼ入りませんでした。マイナーチームでピッチャーをやっている我が子に目で助けを求めると、頼むから入れてくれよと今にも泣き出しそうな険しい顔。他のママさんや選手にかけていたポジティブな声はけはなく、身内には厳しい(笑)。

それにしても普段試合に出ている子ども達は、こんなにも緊張する空気の中でプレイをしているんだと実感しました。「大丈夫だよ!」「がんばって!」というチームメイトからの声援が本当に勇気を与えてくれることを知りました。その後、上手なママさんが抑えてくださって私たちのチームは優勝することができました。

数時間でしたが、私も子どもも多くのことを学べた気がします。諦めないことの大切さ、声かけ一つ

で与えられる勇氣、改めて少年野球に取り組む子どもたちの素晴らしさを実感しました。貴重な体験を親子でさせていただき、ありがとうございました。

(2) 目黒多摩川ウォーキング教室

参加者 飯塚 広美

「皆さん、宇宙に行ったことがありますか?実はこの駒沢公園に行ったヒトがいるんです」の言葉に『え?宇宙に行った人?しかも駒沢公園に住んでいる?』などと訝りながら付いて行くと、指差したヒトはなんと!樗の若い木だった。宇宙に運ばれた樗の種が発芽し、持ち帰られた樗だという。成長が遅い...などと話しながら、生きた化石と呼ばれるメタセコイアや他樹木を見上げながら駒沢通りを抜けて、せせらぎの音を聞きながら呑川を後に246号線をひたすら歩いた。

途中、一名が転んでリタイアされたが、その後は事故もなく休憩を兼ねて玉川大師で参拝、目黒区の運動施設(砧野球場・サッカー場)でお水のサービスを受けて、多摩川ののどかな景色を暫し眺めた。予定より遅れたものの無事ゴール!!



『多摩川の土手を砧に向かう』

一時霧雨も降ったが全体的にはお天気にも恵まれ、楽しいウォーキングだった。

(3) 砧グラウンドの皆様へ

— ふれあいスポーツ教室に参加して —

新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、グラウンドで活動をさせていただき心より感謝いたします。ありがとうございます。前日まで大雨が降っていたので、グラウンドが使えるか不安がありました。が、当日は皆様に朝早くから整備していただき、綺麗なグラウンドで活動できて嬉しかったです。

また当日は風が強かったのですが、テントやブルーシートを敷いて下さったので、青空の中で美味しくお弁当をいただくことができました。

ティーボールでは打ち方やルールの説明をいろいろと教えていただき、打つのも守るのも楽しく体験することができて試合は大変盛り上がりました。ティーボール以外にも、大きなボールなども用意して下さり、お友達や職員の皆様と楽しく遊ばせていただきました。

工房に帰ってから「また、ふれあいスポーツに行きたい」、「ティーボールをやりたい」と皆から感想があり、久しぶりの外出行事をとっても楽しく活動することができて良かったです。またお誘いいただくと嬉しく思います。



『プレイが終わってハイタッチ!!』

下目黒福祉工房 菊池 隼人

令和3年度 都民生涯スポーツ大会に参加して

先ずは都民生涯スポーツ大会バドミントン競技を開催していただきありがとうございます。今年も体育館の使用が出来なかったり、使用が制限されたり、新型コロナウイルスの感染が、自分たちの身に起きたらと考える方などいろいろな理由があり、練習が思うように出来ず参加を辞退される方もいました。



その中でのメンバー集めも大変でしたが、毎年この大会を楽しみにして下さる方もいて、参加出来た事を、嬉しく思います。

こうしたコロナ禍の中での大会でしたので、参加チーム数はいつもより少なく感じました。またコロナ前と比べて試合の応援が変わり、チームに対する声援や、選手への掛け声が少なく、また試合でもマスクを付けたままプレイをする方もいました。それでも試合を楽しむ姿は変わりなく、参加チームの皆様は、久々の試合を静かに、しかしそれぞれのパフォーマンスを楽しんでおられました。



バドミントン競技 監督 田中 進一

10月10日 中央体育館

『スポーツDAY』より



上 『親子バトン体験会』
左 『親子脳トレ体操』

オリンピック・パラリンピック記事の掲載について

東京オリンピック・パラリンピックでスタッフやボランティアで参加された方に体験記の募集をいたしましたところ、おかげさまで多数いただきました。

そこで今回は特別号として、それらの記事を集めます。原稿を送っていただいた皆様、有難うございました。

★賛助会費の御礼

今季左記の方々から賛助会費のご協力をいただきました。厚く御礼申し上げます。

今後とも変わらぬご支援、ご協力の程お願い申し上げます。

★賛助会員ご芳名 (1月末現在)

【団体】株式会社協栄

【個人】大塚 雅信 (釣魚連合会)

吉田 一夫

(東京マスターズ陸上競技連盟)

(敬称略 受付順)

中央体育館 新春スポーツフェスタ 2022

2022年1月16日、年も改まり厳しい寒さが続く中、中央体育館では新年最初の



⇒ 『親子deかけっこ
体験会』



⇒ 『親子簡単体操体験会』

イベント『新春スポーツフェスタ2022』が行われ、親子の明るい声でにぎわいました。

例年であれば、新春は『館まつり』を行っていましたが、昨今の感染症問題を考え、参加者は人数制限を設け事前申込制にし、検温・アルコール消毒等の万全な対策を講じた上での開催といたしました。

そも開催す

らできない

のではない

か？等、様

々な不安を

抱えながら

計画を立て

ました。し

かし、そん

な不安とは

裏腹に、定

員を超える

程のお申込

みを頂き、

イベント当

日も親子参

加プログラ

ムでは、保

護者の方と

一緒にこど

も達が一生

懸命走った

り、フラダ

ンスを踊っ

たり、バト

ントワリング

を行ったりと、

明るい笑顔と

声で溢れていました。



⇒ 『親子フラダンス体験会』



⇒ 『チェアヨガ体験会』

また大人向けプログラムの太極拳やチエアヨガでは、慣れない動きに真剣な表情で取り組む姿が見られました。そして、どのプログラムも終了後は、参加された方々から笑顔で「ありがとうございます！」「また参加したいです！」等の声を掛けて頂き、無事開催することができて良かったとの底から思いました。

まだまだ寒い日々も続き、

コロナ禍も収束せず、大変

な毎日が続きますが、皆様、

共に力を合わせて乗り越え

ましょう！万全な対策を行

った上で、スポーツの力で元気を届けたいと思っております。スポーツをしたくなった是非中央体育館へ！その際には、明るい

笑顔でおもてなしさせていただきます。

皆様のご来館をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

中央体育館職員 武田 溪介



⇒ 『太極拳体験会』